

## 市長所信表明（令和6年12月吉野川市議会定例会）

おはようございます。

本日、令和6年12月吉野川市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

定例会に臨みまして、当面する諸課題への取り組み状況と今後の市政運営に対します所信の一端を申し上げますとともに、提出議案のご説明をさせていただき、議員各位はじめ市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、市制20周年記念事業について申し上げます。

去る、10月5日に鴨島公民館で市制20周年記念式典を開催し、四国大学文学部書道文化学科の皆様による「オープニングイベント」を皮切りに、個人・団体の表彰や本市のPR動画のお披露目、記念誌の配布など、市政に係わる多くの皆様とともに20周年の節目をお祝いしたところでございます。

また、本市並びに板野町を舞台とした映画「道草キッチン」は10月5日にクランクインし、10月13日には県内外から161人のエキストラの皆様に参加いただき、JR鴨島駅前で鴨島阿波踊りの再現シーンを撮影するなど大いに盛り上がりを見せ、映画撮影は10月22日にクランクアップしました。撮影期間中は、大勢の市民の皆様のご協力を頂きながら順調に撮影を終えることができましたことに改めて感謝申し上げます。この映画は、来年秋の全国公開を予定しており、本市の魅力を全国に発信していきたいと考えています。

そのほか、10月24日には、鴨島公民館で、市内中学校2年生、3年生約600人を対象とした「JAXA宇宙教室」を開催し、現役宇宙飛行士である金井宣茂さんの経験を踏まえたお話を伺い、宇宙の魅力や科学の重要性を伝える貴重な機会となりました。参加した生徒たちのキラキラと輝く目を見て、未来を担う若者たちに大きな感動と希望を与えることができたかと確信しております。

今後予定しています主な事業としては、12月15日にはオリンピックメダリスト、全日本経験者をお招きして「はつらつママさん

バレーボール in 吉野川」を、来年2月9日には「特別事業」として「NHKのど自慢」を日本フネン市民プラザでそれぞれ開催いたします。「NHKのど自慢」については、現在、出場者を募集中とのものでありますので、是非、市民の皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。

次に、「阿波吉野川警察署の移転」について申し上げます。

現在、川島町にある阿波吉野川警察署の移転先が、市役所前の旧県農業試験場鴨島分場跡地となることが公表されました。令和12年度の完成を目指すとのことであり、本市といたしましても、より効果的な治安活動が実現できるよう、管内アクセスの環境整備等について、先日、枝澤議長とともに県知事に対し要望を行ったところでございます。

本市の安全・安心な街づくりの実現に向けて、引き続き皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、最近の市政の動きについて申し上げます。

「令和7年度当初予算編成」について、申し上げます。

我が国の経済は、600兆円を超える名目GDPや33年ぶりの高い水準となった賃上げを実現したところであり、長きにわたったコストカット経済型から脱却し、デフレに後戻りせず、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」に移行できるかどうかの分岐点にあると言われております。

国においては、足元の物価高に対応しつつ、地方創生2.0の起動、官民連携による投資の拡大、防災・減災及び国土強靱化、充実した少子化・こども政策の着実な実施など、新たなステージへ向けた取り組みを加速させるとしております。

本市の財政状況は、当面の財政危機は回避したところですが、身の丈に合った予算規模を維持することが前提であり、引き続き、経常収支比率や財政健全化法に基づく各指標の推移を踏まえた財政運営が必要な状況でございます。

については、令和7年度当初予算編成は、次の10年を見据えた予算編成とし、公共施設等の老朽化対策や防災・減災対策など、本市が抱える重要政策課題に的確に対応できるよう、限られた財源を賢く使うことを強く意識し、編成作業を進めてまいりたいと考えております。

次に、「庁舎改修工事の進捗状況」について申し上げます。

庁舎本館、西面の外壁については、「第83回鴨島大菊人形」終了後に足場設置を行う予定としていたため、足場の設置はこれからとなりますが、西面を除く3面並びに付属棟の足場については既に設置が完了しており、劣化調査も終え、現在は外壁の改修工事を実施しているところであります。

付属棟の外壁補修及び塗装については、年内に終了する予定ですが、本館の外壁改修工事については始めたばかりであり、振動と騒音を伴う改修となるため、業務に支障のないよう慎重に進める必要があります。

足場設置等により来庁される市民の皆様にご不便をおかけしている上に、今後は外壁改修に伴う振動や騒音など、重ねてご迷惑をおかけいたしますが、施工に際しては、可能な限り配慮して参りたいと考えておりますので、改めまして、市民の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、「上浦小学校の利活用」について申し上げます。

令和4年度末をもって休校となっている上浦小学校の利活用につきましては、体育館や校舎の一部を地域のスポーツ団体や音楽サークルが定期的に利用している状況にとどまっておりますが、そのような中、本年6月、徳島市において通信制高校のサポート校を運営されている（有）日本教育マネジメントから、上浦小学校の校舎を活用し、新たな学校法人及び通信制高校を開設したいとの申し出がございました。

この申し出を受けた後、今後における上浦地区の児童数の推移および上浦小学校の利活用のほか、本市における不登校生徒の状況な

どを総合的に検討した結果、この度お話をいただいた同法人への貸与が望ましいと判断いたしました。

9月には、上浦地区において説明会を実施し、地域の皆様へ通信制高校開設の経緯及び概要をご説明するとともに、上浦小学校の廃校手続きをとったうえで、校舎の貸与についておおむねご理解を賜ったところでございます。

現在、令和8年4月の開校に向けて、学校法人の認可申請中と伺っており、今後、本市といたしましては、新たな通信制高校の開校を契機に、同校の協力を得ながら、本市の不登校児童生徒対策に取り組んで参りたいと考えております。

以下、当面の市政運営に関して申し上げます。

## 1点目は、「子育て・教育の満足度向上」についてであります。

「鴨島東中学校の統合」について申し上げます。

鴨島東中学校の生徒数の現状についてでございますが、令和5年度には一つの学年が単学級に、また、現時点での見込みでは令和9年度にはすべての学年で単学級となる見込みとなっております。

今後におきましても、生徒数の減少傾向は続く見込みとなっており、令和18年度の生徒数は、本年度の約半数の60人程度まで減少することが予測されております。

生徒数の減少による学校運営への影響が懸念される状況に鑑み、本年度、外部有識者等で組織する「鴨島東部地区小中学校のあり方検討委員会」を設置し、今後の生徒数の状況、地理的条件等を踏まえた学校の再編の是非などについて協議を重ねて参りました。

去る11月8日に、検討委員会からは、「鴨島東中学校は、鴨島第一中学校と統合し、生徒にとってより望ましい教育環境を早急に実現すること。」とのご提言をいただきました。

これを受け、鴨島東部地区の未就学児及び小中学校の保護者のみなさまに対し、鴨島東中学校の統合に関するアンケートを実施したところ、「統合に賛成」が「半数」を上回る結果となりました。

本市といたしましては、検討委員会からのご提言を重く受け止めるとともに、鴨島東部地区の保護者の皆様の意向を尊重し、教育委員会において、令和9年4月を目途に、鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合を決定したところでございます。

今後におきましては、より望ましい教育環境の実現に向け、できるだけ早期に統合に向けた準備組織を立ち上げ、生徒たちの新しい学校生活が順調にスタートできるよう、入念な準備を図って参ります。

次に、「米価高騰による給食費の影響」について申し上げます。

本市学校給食センターにおきましては、安全で栄養バランスの取れたおいしい給食を子どもたちに提供するため、日々取り組んでいるところでございますが、材料費の高騰が続く中、これまでの給食費では賄えないため、本年4月には、一食あたり小学校285円、中学校315円に改定を行ったところです。

しかしながら、今回の改定にあたりましては、子育て世帯への経済的負担の軽減をはかるため、値上がり分となる小学生10円、中学生15円につきましては、保護者に負担を求めず、市において負担することとしたところでございます。

このような中、新聞報道等により、すでにご承知のことと思っておりますが、令和6年産の米の価格が令和5年産の約1.5倍となっており、学校給食に与える影響も大きく、現状の給食費のままでは、安全で栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することが大変難しい状況になってきております。

本市といたしましても、子育て世帯のみならずにとっても、物価高騰が生活に与える影響が懸念される中、今以上に負担を求めることは厳しいものと判断し、このたびの米の価格高騰分につきましては、市において負担することとし、関連予算を本定例会に提出させていただいております。

次に、「第2回こどもD o まんなか会議」について申し上げます。

本市では「こども基本法」に基づき、市がこども施策をはじめ様々な施策を検討する際に、こどもの意見も尊重できるよう市内の小・中学生や高校生にご参加いただき昨年度から「こどもD o まんなか会議」を開催しております。

今年度は9月24日に、日本フネン市民プラザ内の「ちびっこプラザ」にて開催し、小・中・高校生の総勢41名にご参加いただき、大人側としては市議会議長、教育長と私の3名が参加し、全てのこどもと膝を突き合わせて意見を交わし、私自身も新たな気づきや、行政施策に対する貴重なヒントをいただいたところでございます。

今後につきましても「こどもD o まんなか会議」での意見を参考にし、こども達が安心して成長し、その未来が輝きに満ちたものとするために、こども施策を力強く推進して参ります。

2点目は、「暮らし・福祉の満足度向上」についてであります。

「マイナンバーカードと国民健康保険及び後期高齢者医療保険保険証の一体化」について申し上げます。

健康保険証については、制度改革により本日12月2日をもって、マイナンバーカードと一体化させた「いわゆるマイナ保険証」を基本とした仕組みに移行いたします。これに伴い、国民健康保険及び後期高齢者医療保険につきましても新規の健康保険証は発行できなくなります。

移行への対応といたしまして、現在、既に健康保険証をお持ちの方につきましては、現保険証の有効期間を令和7年7月末まで延長して利用可能としており、マイナ保険証での受診が困難な方には、申請により医療機関を受診することができる「資格確認書」を交付いたします。

マイナ保険証は診療履歴に基づいたより良い医療が受けられるなどのメリットがありますので、便利で安全なマイナ保険証への早期の切り替えをご検討頂きたいと考えております。

次に、「JR阿波川島駅公衆トイレ整備事業」について申し上げます。

JR阿波川島駅公衆トイレにつきましては、令和元年11月に駅トイレが閉鎖されて以来、駅利用者を始め、周辺住民の方々におかれましては、大変ご不便をおかけしておりましたが、この度、県の補助金を活用し、整備を行い、11月1日から供用を開始したところでございます。

JR阿波川島駅につきましては、1日あたりの乗降客数が本市では鴨島駅に次いで多い駅であり、公衆トイレ設置により、阿波川島駅利用者の利用環境はもとより、駅周辺的环境改善にも大きく寄与するものと考えております。

3点目は、「移住定住・にぎわい創出の魅力度向上」についてであります。

「各種イベントの開催状況」について申し上げます。

10月25日から11月24日まで市役所イベント広場におきまして、恒例の「鴨島大菊人形・四国菊花品評会」が、11月23日、24日は「美郷梅酒まつり」が美郷地区で開催され、多くの方で賑わいました。

こうした、恒例のイベントに加えて、民間主導のイベントとして、鴨島町にあるオブスタクルスポーツ公認施設におきまして「忍者イベント」が、また、鴨島駅周辺で漫画やゲーム、コスプレといったサブカルチャーを集めた「かもじまサブカルフェスティバル」が新たに開催されました。

これらの取り組みが、今後における本市の賑わいの創出や地域の活性化に繋がることを期待しております。

次に、「サイクルツーリズム推進事業」について申し上げます。

令和7年秋の「Mt.高越ヒルクライムレース」開催に向け、本年度は本市の観光資源や安全性を十分考慮し、初・中級者向けのショートコース4本、上級者向けのロングコース1本の計5本のサイ

クルルートを設定し、これらのルートを活用した自然や文化が楽しめるサイクルガイドツアーを実施しているところでございます。

また、ヒルクライムレースの「プレイベント」としまして、10月19日から約1ヶ月間、レース予定のコースを使用し、オンラインでのタイムトライアルレースを開催しましたところ、市内外から多くの方にご参加いただき、コース等に関する貴重なご意見をいただきました。このフィードバックを反映し、来年のレース本番に向け、コース修繕に伴う補正予算を本定例会に提案させていただいております。

今後におきましても、自転車を活用した観光振興や市民の皆さまの健康増進に繋がる事業を推進するとともに、安心安全なレース開催ができるよう万全の体制をとって参りたいと考えております。

次に、「F C徳島の今シーズンの成績」について申し上げます。

F C徳島は今シーズンも四国リーグ優勝を果たし、4期連続でのリーグ優勝となりましたが、11月に開催された全国地域サッカーチャンピオンズリーグでは残念ながら予選リーグ敗退となり、悲願であるJFL昇格とはなりませんでした。

しかしながら、10月に開催された第60回全国社会人サッカー選手権大会では、チームの過去最高成績となる準優勝を果たすなど、チームは着実に成長しており、更なる飛躍を期待しているところでございます。

F C徳島におかれましては、現在、サッカーを通じた様々な地域活動にも積極的に取り組んでいただいております。本市といたしましても、今後も支援を続けながら、共に地域を盛り上げて参りたいと考えております。

4点目は、「成長する産業づくりの拡大」についてであります。

「6次産業化加工施設整備補助事業」について申し上げます。

食品衛生法の改正による国の営業許可基準見直しにより、6次産業化への影響が全国的に懸念されています。

本市においても、特産品である「美郷の梅干」等への影響が懸念されていた状況であり、今年度より、農産物等の生産・加工・販売を一体化して取り組む農業者の方などに、営業基準を満たす施設整備費等に必要な経費の一部を最大で50万円助成することとしております。これまで、徐々に申請をいただいておりますが、この度、ご要望が当初想定を上回る見込みとなったことから、今定例会に補正予算を計上させていただきます。

高齢化や有害鳥獣への対応など、特に中山間地域の農業を取り巻く状況は厳しさを増す状況でございますが、6次産業化や有害鳥獣対策等を総合的に実施し、今後も農業者の皆様の所得向上に繋がる取り組みを進めて参ります。

## 5点目は、「安心・安全なまちづくりの拡大」についてであります。

「災害対策本部運営図上訓練」について申し上げます。

近年、能登半島地震の発生や大雨による河川の氾濫・土砂災害などにより、危機管理の重要性がこれまで以上に高まっており、また、近い将来発生が危惧される「南海トラフ地震」や地球温暖化の影響などにより、大型化した台風等の影響による甚大な被害が発生することが予想されています。

一方で、本市では、平成16年の台風23号による水害以降は大規模災害が発生しておらず、いざという時に現在の災害対策本部体制が十分機能するか早急に確認し強化する必要があります。

このような背景を踏まえ、本市における災害対応力の強化を図るため、近年の大規模災害を踏まえた災害対策本部の運営要領の定着化と、課題の抽出を目的とした「災害対策本部運営図上訓練」を令和7年1月17日に実施いたします。

この訓練により得た成果を基に、本市の災害対応体制の確立を図り、今後発生する可能性のある様々な大規模な災害に迅速かつ的確に対応できるよう、災害対策本部機能強化と災害対応能力の向上に努めて参ります。

## 6点目は、「持続可能な地域づくりと市役所の変革」についてであります。

「総合戦略と行財政改革の取り組み」について申し上げます。

人口減少の克服や地域活性化に向け、本市の施策の方向性を示す「第2期 吉野川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、今年度をもって5年間の計画期間が終了いたします。継続を力とするため、これまでの基本方針は維持・継承しながら、デジタルの力を活用し本市の地方創生の実現を目指す「第3期総合戦略」の策定作業を、現在進めているところでございます。

また、本市は、令和6年3月に策定した「吉野川市行財政改革プラン2024」により、身の丈に合った行財政運営に取り組んでおりますが、昨年度より、長年の課題であった「公の施設使用料」及び「使用料の減免措置」の統一的基準の検討を進めており、現在、「公の施設の使用料見直しに関するガイドライン」の策定に着手しております。

第3期総合戦略、及び、公の施設の使用料見直しに関するガイドラインと共に、市内各界各層の方々からご意見をいただき、年度内の策定に向けた作業を進めておりますので、議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

次に、「庁舎非常用電源設備の改修」について申し上げます。

庁舎本館の非常用電源設備は、庁舎建設時に設置したもので、高圧受電設備（キュービクル）と共に設置から既に30年が経過しており更新時期を迎えております。

庁舎は、大規模災害時の防災・減災対策のために必要な施設整備として、災害対策の拠点となる重要施設であり、近い将来発生が危惧されている「南海トラフ地震」への備えとして、電源設備等の嵩上げなどを行う必要があります。

非常に有利な財源である「緊急防災・減災事業債」の活用を視野に入れ、本定例会に設計業務に係る補正予算を提案させていただいており、できるだけ早期の更新を目指し、スピード感を持って取り組んで参ります。

**次に、今定例会に提出いたしております案件につきまして、お手元の一覧表に沿って、ご説明申し上げます。**

まず、**報第13号「専決処分の承認を求めることについて」**は、令和6年度吉野川市一般会計補正予算（第4号）として、去る、10月27日に行われた衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に必要な経費を計上し、歳入歳出それぞれ1,996万1千円を追加することについて専決処分いたしましたので、議会に報告し、承認をお願いするものです。

**次に、報第14号から報第17号につきましては**

市の業務における和解、損害賠償の額の決定等に係る専決処分の報告です。

**次に、議第61号及び議第62号は「条例関係議案」でございます。**

議第61号「吉野川市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」及び議第62号「吉野川市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について」は、地域包括支援センターの職員配置基準を定めるに当たり従うべき基準を定めた省令が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

**次に、議第63号及び議第65号までは「補正予算関係議案」でございます。**

まず、**議第63号「一般会計補正予算（第5号）」**につきましては、

人事異動等に伴う人件費の調整のほか、

・市庁舎非常用発電設備等の改修に係る設計委託料

1,723万円

- ・ 公私連携幼保連携型認定こども園のエアコン改修に係る負担金  
7 2 万 2 千 円
- ・ 令和 7 年度に開催予定の高越山での自転車ヒルクライムレース  
のコースとなっている市道の改良工事費  
2, 0 0 0 万 円
- ・ 学校給食で提供する米の価格高騰に伴う賄材料費の増額分  
2 1 5 万 6 千 円
- ・ 地方債の繰上償還に係る費用  
2 億 9, 7 9 2 万 8 千 円

など、合わせて、**5 億 7, 1 1 5 万円**を追加し、  
補正後の予算総額を、**2 5 6 億 6, 0 8 5 万 7 千 円**とするものです。

次に、議第 6 4 号「国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）」  
につきましては、

職員人件費の調整及び医療給付費等の調整などにより、**6 万 3 千 円**を減額し、補正後の予算総額を**4 5 億 5, 0 1 8 万 4 千 円**とする  
ものです。

次に、議第 6 5 号「介護保険特別会計補正予算（第 2 号）」  
につきましては、

職員人件費の調整などにより、**1, 1 0 3 万 2 千 円**を追加し、補  
正後の予算総額を**6 1 億 2, 4 1 6 万 5 千 円**とするものです。

最後に、議第 6 6 号から議第 7 2 号までは「指定管理者の指定関  
係議案」でございます。

対象の施設、指定する団体や期間につきましては、議案書記載の  
とおりとなっておりますのでご高覧ください。

以上、ご説明を申し上げましたが、十分ご審議の上、原案どおり、ご賛同くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。